

こんなことに配慮しましょう

視覚障がいのある人が、何かを探していたり、不安そうな表情をしていたりなどの様子であれば、まず声をかけてください。また、横断歩道前や駅のホームなどの危険な場所を歩いている場合には、ためらわずに声をかけてください。



誘導する時には、白杖の反対側に立って自分の腕や肩に触れさせ、半歩前を歩いてください。誘導中は安全に気を配りながら、周囲の様子などを伝えてください。

音響式信号機がない横断歩道では、渡るタイミングを伝えるだけでも、視覚障がいのある人は安心して渡ることができます。



物の位置を伝えるときには、直接手で触れてもらうようにしてください。
また、「あなたの右側」、「○時の方向」など基準となる言葉を添えましょう。



行き先を説明するような場合には、「あっち」「こっち」「あれ」「それ」などの指示語を使わずに、前後左右などの方向や距離などを具体的に伝えてください。

パソコンを使用している視覚障がいのある人がホームページ等の内容を理解できるように、音声読み上げソフトに対応できるように配慮してください。

できるだけ正面から声をかけてください。後ろや横では、視覚障がいのある人は、自分に話しかけられていることに気付かないことがあります。急ぐ時でも、突然、身体に触れたり、手や杖を引っ張ったりしてはいけません。

危険ですので、歩きスマホはしないようにしましょう。

音声コード

